

第2回姫路港港湾計画検討会 議事要旨

1 開催日時 平成29年3月27日（月）13:30～14:35

2 開催場所 兵庫県職員会館 1階ホール

3 出席者（敬称略、五十音順）

稲田 雅裕（近畿地方整備局 港湾空港部長）※代理出席：小野 正博

内海 将博（姫路市副市長）※代理出席：高馬 豊勝

岡本 周治（兵庫県中播磨県民センター長）

糟谷 昌俊（兵庫県県土整備部長）※代理出席：濱 浩二

川路 勉（神戸運輸監理部 海事振興部長）

黒田 勝彦（神戸大学 名誉教授）

藤井 隆（ひょうご埠頭（株）社長）

榎村 久子（京都女子大学 客員教授）

水田 裕一郎（姫路港運協会 会長）

宮里 一敏（姫路港長）

吉田 裕康（姫路商工会議所 専務理事）

4 議事

(1) 資料説明

事務局より、以下の内容について説明を行った。

- ① 第1回検討会における主なご意見とその対応
- ② 港湾計画の施設計画・土地利用計画（案）について
- ③ 港湾計画改訂までのスケジュールについて

第2回姫路港港湾計画検討会 発言録

日時：平成29年3月27日

開会 午後 1時30分

○事務局（宇野） 定刻となりましたので、第2回姫路港港湾計画検討会を開催いたします。

議事に入ります前に、本会の成立要件につきまして御報告します。

委員数14名のうち10名の御出席をいただいております。したがって、検討会設置要綱第6条第2項の規定により委員の過半数を超えておりますので、本会は成立しております。

これより、議事次第に基づき議事を進行してまいります。

次に、本日、一般傍聴者はありませんが、報道関係者1名の傍聴申請がございます。既に会場内に着席していただいておりますが、黒田会長、引き続き傍聴いただいてもよろしいでしょうか。

○黒田会長 傍聴していただいて結構です。

○事務局（宇野） それでは、傍聴希望者の皆様は引き続き傍聴を願います。

一般傍聴者及び報道機関関係者の方は、黒田会長の御挨拶が終わりましたら、それ以降の写真撮影・録画等は御遠慮いただきますよう御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは開会に当たりまして、黒田会長から一言御挨拶を頂戴いたします。

よろしくお願いいたします。

○黒田会長 昨年の第1回検討会におきまして、港湾計画の基本方針並びに主な施設計画、土地利用計画の方向性について御議論を賜りました。そのときに、耐震岸壁の整備に関連しまして家島諸島のことを余り考慮に入れてないのではないかと御指摘がございました。また、立地適正化計画との関連づけ、あるいは都市計画的な観点から土地利用計画の中で必要になってくるという御指摘を賜りました。これらの御意見を反映させた上で、本日、事務局で港湾計画に位置づける施設計画と土地利用計画を新たにバージョンアップしてまとめていただいております。本日はその内容を中心にして議論を賜りたいと考えてますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（宇野） 続いて、出席者の紹介に移らせていただきます。

本日は2回目ということで、お手元の配席図をもって委員の紹介とかえさせていただきますが、今回、初めて出席いただいている委員がおられますので御紹介だけさせていただきますと思います。

神戸運輸監理部海事振興部長の川路勉委員でございます。

○川路委員 川路です。よろしくお願いいたします。

○事務局（宇野） 姫路海上保安部長姫路港長の宮里一敏委員でございます。

○宮里委員 宮里です。よろしくお願いします。

○事務局(宇野) それでは、これから議題の議事に移らせていただきますので、以降の進行は黒田会長にお願いします。

○黒田会長 お手元の議事次第をごらん下さい。

今日、主要な議事が3件でございますが、まず第1点目の議事でございます。

「第1回検討会における主な御意見とその対応」について事務局から御説明をお願いしたいと思います。

〔事務局より資料1「第1回検討会における主なご意見とその対応」の内容を説明〕

○黒田会長 ただいま、「第1回検討会における主なご意見とその対応」について資料をご説明いただきましたが、何かこれに関連しましてご質問等ございますか。

ご質問がないようですので、引き続きまして議事の2番目のほうに入ります。

「港湾計画の施設計画・土地利用計画(案)」について事務局から資料の御説明をよろしくお願いします。

〔事務局より、資料2「港湾計画の施設計画・土地利用計画(案)」の内容を説明〕

○黒田会長 資料2、少し多岐にわたりますが、御説明いただきました内容に関連しまして御意見・御質問を伺いたいと思います。

○高馬産業局長 播磨臨海地域道路については、具体的なルートが決まってないので現段階では港湾計画に位置づけることは出来ないとのことでした。それは理解できますが、この計画自体が平成40年度の前半を目途にしている計画であるということ踏まえれば、現在、播磨臨海地域道路は新聞報道されておりましたけれども、概略ルートの選定作業に取りかかるとのことなので、数年後には都市計画決定されるのではなかと思われる。国のほうからは関係計画との整合をとるように指示されていますので、図面に落とすことは困難だということは理解できますが、取りまとめされる中の全般的な考え方の中などで、可能であれば播磨臨海地域道路の推進に関するコメントを入れていただきたい。内容的には、「播磨臨海地域道路については、具体的なルートが決まり次第、港湾計画に反映させる」といった文言だけで結構でございますので、取りまとめの段階で明示していただきたい。

また、「物流・産業」の開発空間のところで工業用地を網干沖・広畑・浜田地区に位置づけて頂くことは企業立地の部分ではありがたいと思っております。

○黒田会長 はい、ありがとうございます。事務局から補足ございますか。

○事務局(菅野) 頂きましたご意見につきましては、今後、国と協議しできる限り反映できるようにしたいと思っております。

それから、土地利用計画につきましては、姫路市に行政が保有する工業団地がなく、企業からの問い合わせに対応できないと伺っておりましたので、港湾計画に多くの工業用地を位置づけたいと考えております。

今後、造成それから分譲等に際しましては、姫路市の協力が必要と考えております。

○黒田会長 はい、ありがとうございます。ほかに質問あるいは御意見ございませんでしょうか。

○水田委員 資料2の1ページに港湾関連用地を工業用地に変更という案が示されています。その中の広畑地区について、新たに14m岸壁を位置づけているのに、この港湾関連用地を工業用地に変更するということは、岸壁が完成しても貨物を扱うための用地が不足するのではないかという気がいたしますが、その辺をどのように考えていますか。

○黒田会長 事務局から補足をお願いします。

○事務局（菅野） 委員にお話しいただいたような倉庫等が工業用地は建てられないのではないかというようなことを懸念されていると思いますが、工業用地であれば港湾関連用地に建てられる倉庫なども建てるのが可能です。港湾関連用地は条件が厳しく、工業用地は緩やかだという御理解をいただければと思っております。

○水田委員 はい、わかりました。

○黒田会長 はい、ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

○小野神戸港湾事務所長 資料2の2ページで、既定計画の臨港道路吉美線が削除とありますが、これは、今後、工業用地への工場進出や2バース目の岸壁をつくるという中で必要ではないかと思いたしますがいかがですか。

○黒田会長 はい、事務局から補足をお願いします。

○事務局（菅野） 委員おっしゃっていることはごもっともでございますが、我々としても非常に、削除するのかそのままにするかというところは悩みましたし、多方面から事前調整する中で御指摘も受けておるところでございます。

この吉美線、参考資料①の4ページに記載しておりますが、現計画では吉美地区で扱っている貨物を広畑、それから今回、公共埠頭計画を削除しましたが網干沖地区の公共埠頭へのシフトを考えており、混雑する国道250号を回避するためのルートとして吉美線を港湾計画に位置づけております。

今回、吉美地区の荷主にも意向を確認したところ、実現性がないとのことで、計画交通量をここに記載しておりますが、1,790（台/日）のうち約8割がその関連貨物ですので、今回シフト計画を落とすと吉美線の必要がなくなると考えております。

○黒田会長 はい。ほかに御意見ございませんでしょうか。

○高馬産業局長 資料2の7ページのところの施策3「自然環境の保全・創出を

推進」の「⑥海浜計画を位置づけ、干潟・浅場・藻場を整備」ですが、6カ所ほど位置づけされていますが、どの程度までの整備を予定されているのか、イメージがわく説明を聞かせていただきたい。

○黒田会長 事務局からお願いします。

○事務局（菅野） 規模等につきましては、今後、詳細設計していく中で決定していくことを考えておりますが。イメージとしましては、潜堤もしくは海面に出ている防波堤などの構造物で囲んで、その中に浚渫土砂を投入し、その上に良質土、砂等で覆砂するというようなことを考えております。

港湾計画の記載上は何メートルという延長表記になりますが実際は面整備になります。そこにアマモとかの海藻が生えることによって新たな水産資源になることを期待しているところです。

○黒田会長 はい、ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

○小野神戸港湾事務所長 資料2の5ページですが、「中央卸売市場の移転に伴いまして土地利用計画変更」とありますが、こちらは臨港地区も外れるのですか。

○事務局（菅野） ここは予定臨港地区であります。現実としては臨港地区には指定しておりません。

今回、港湾計画上の土地利用計画は削除しますので、予定臨港地区からも外すことを考えております。

○小野神戸港湾事務所長 この中央卸売市場は、港湾計画上どの土地利用計画にもあてはまらないという理解でよろしいですか。

○事務局（菅野） 港湾計画上は「都市機能用地」という土地利用計画がありますが、近畿地方整備局と調整し、今回削除するということを提案させていただいております。

○黒田会長 それでは、資料2に関連してこれ以上御意見・御質問がないようです。最後の議事3に移らせていただきます。

議事3は、「港湾計画改訂までのスケジュール」についてですが、事務局から御説明をお願いします。

〔事務局より、資料3「港湾計画改訂までのスケジュール」の内容を説明〕

○黒田会長 今後のスケジュールを御説明いただきましたが、これに関連しまして何か御質問はございますか。

それでは特に御質問もないようですので、本日の議事はこれで全て終了いたしました。

○事務局（宇野） 黒田会長、どうもありがとうございました。

委員の皆様におかれましては熱心に御討議いただきましてありがとうございます。

それでは閉会にあたり、兵庫県県土整備部土木局長の濱より御挨拶申し上げます。

○濱土木局長　本日は、年度末の公私とも大変お忙しい時期に当検討会に御参加を賜りました。ありがとうございます。

本日、港湾計画の施設計画、土地利用計画の案をお示し、貴重な御意見を賜りました。かさねてお礼を申し上げます。

今回は、スケジュールの御説明にもありましたが、少し時間をいただきまして姫路港港湾計画の素案をとりまとめ、第3回検討会で御議論賜りたいと考えております。

引き続き、委員の皆様方には御指導を賜りますことをお願いいたしまして、甚だ簡単ではございますが、閉会にあたっての御挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

○事務局（宇野）　どうもありがとうございました。

第3回検討会の日程につきましては、先ほどのスケジュールの説明にもありましたとおり、おおむね9月ごろに予定をしております。具体の日程につきましては、また事務局から後日改めて調整させていただきたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして第2回姫路港港湾計画検討会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

閉会　午後　2時35分